

交通指導員は、警察官？

交通指導員は町長が委嘱した町の非常勤特別員で、警察官ではありません。警察や学校などと連携して、道路交通の安全指導を行い交通事故の防止に努めています。

交通指導員の服装・装備品

交通指導員には、制服や帽子、必要な装備品が町から貸与されます。交通指導員手帳も貸与され、勤務中は必ず携帯しています。



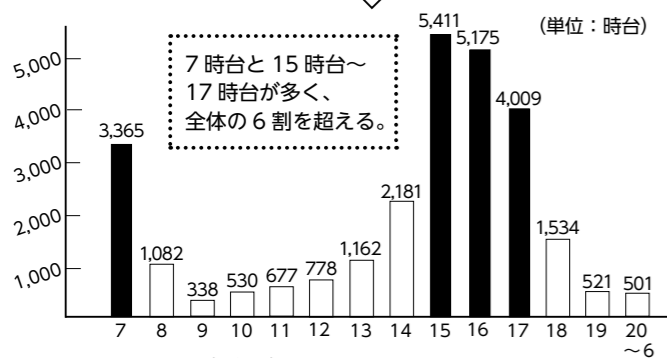
①警笛つりひもや腕章などの装備品。右腕には、「交指」と記された交通指導員のワッペンを付ける。②胸に着ける交通指導員の徽章。中心にあるのは埼玉県章。③あいさつ・声かけ推進運動の啓発ワッペン。元気な挨拶が交通指導には欠かせません。

交通指導員の「立哨指導」

差点などに立って、子どもたちが安全に登下校できるように交通指導をすることを立哨指導と呼びます。天候に関わらず、学校のある日は毎日立哨指導を行っています。



小学生歩行中の時間別死傷者数 (警察庁調べ)



交通安全 万全な町へ。

悲しい交通事故を無くそうと、町で日々活動する人がいるのをご存知でしょうか。今月の特集は「町の交通安全」。交通安全の各分野で活躍する人たちを紹介し、一人ひとりができることを考えます。

町の交通安全を特集

今月の特集は、「町の交通安全」。町の交通安全に関わる地域の人々にスポットを当て、どのような活動をしているのか、なぜその活動に携わろうと思ったのか。交通指導員をはじめ、交通安全の各分野で活躍する人たちの声をお届けし、三芳町が交通安全の万全な町になるために、一人ひとりができることを考えます。

交通指導員の啓発活動

交通指導員は、多くの人に交通安全の意識を持ってもらうため、

様々な啓発活動を行っています。小学校区の交通安全教室や街頭活動など、事故を未然に防ぐための活動を根気よく続けています。

事故が多い登下校時間帯

警察庁の調査によれば、小学生の交通事故が集中しているのは、登下校の時間帯。特に下校時間から夕方にかけて事故が多発しています。三芳町は交通量が多い場所では、朝に加え下校時間にも交通指導員が立哨指導をしています。

晴

れの日も雨の日も、子どもたちが安全に登下校できるように、毎日



「信号が青になってもすぐ飛び出さないで、一呼吸置いてから渡るように指導しています」という坂本洋子さん。事故が最も多いのは交差点です。